



## 災害支援ネットワークおかやまとは？

資料 2

民官連携の災害支援に取り組む個人と組織の常設ネットワーク。  
**2018年7月7日に設立。同年10月常設組織化。**参加組織、世話人組織に加え、評議員として岡山県、岡山市等の自治体や日赤などの医療機関も加入。事務局：岡山NPOセンター。  
参加組織(NPO/NGO,企業、士業等)約200組織。

2018年7月7日 「災害支援ネットワークおかやま(仮)」立上げ

2018年7月9日 災害支援ネットワークおかやま第1回情報共有会議

2018年10月18日 常設ネットワーク「災害支援ネットワークおかやま」再設立



# 災害支援ネットワークおかやま・評議員、世話人

## 評議員

---

岡山県  
(県民生活部県民生活交通課)  
岡山市  
(市民協働局市民協働企画総務課)  
倉敷市  
(企画財政局市民活動推進課)  
瀬戸内市  
(総務部危機管理課)  
浅口市  
(企画財政部地域創造課)  
鏡野町  
(くらし安全課)

## 世話人

---

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会  
一般社団法人岡山県社会福祉会  
岡山県登録災害ボランティアコーディネーター  
生活協同組合おかやまコープ  
おかやまバトン  
特定非営利活動法人オカヤマビューティサミット  
岡山弁護士会  
ぞうきんプロジェクト実行委員会  
日本赤十字社 岡山県支部  
一般社団法人ほっと岡山  
「被災家屋」部会世話人  
(ファイナンシャルプランナー 佐藤奈名)  
「避難所・建設仮設生活支援」部会世話人  
(NPO法人災害支援団Gorill 代表 茅野匠)  
「物資支援」部会世話人  
(一般社団法人おいでんせえ岡山 理事 逢澤直子)  
特定非営利活動法人岡山NPOセンター  
(代表理事 石原達也)

# 災害支援の変化

## 防災ボランティアに関する近年の動き

＜主な災害とボランティア活動＞ (発生年) (名称) (延べ参加人数)			＜ボランティアの潮流＞	＜政府の対応＞
平成7年	阪神・淡路大震災	約137.7万人	☆ボランティアが被災者支援活動を行う機運が高まる(ボランティア元年) ★多数のボランティアが入り、大混乱	■ <b>災対法改正(H7年)</b> 行政が『ボランティアによる防災活動の環境整備』に努める旨明記
平成9年	ナホトカ号海難事故	約27万人		
平成16年	台風23号	約5.6万人		
平成16年	新潟県中越地震	約9.5万人	☆社会福祉協議会が災害ボランティアセンターの設置・運営を担うことが主流になる	■ <b>防災ボランティア活動検討会</b> H16年から内閣府にて開始
平成19年	能登半島地震	約1.5万人		
平成19年	新潟県中越沖地震	約1.5万人		
平成21年	台風9号	約2.2万人		
平成23年	東日本大震災	約150万人	☆NPO、NGO、企業等がボランティア活動(災害VCを通らないボランティアが約400万人) ☆専門性のある支援者により、幅広いニーズに対応 ★ネットワーク化が課題に	■ <b>災対法改正(H25年)</b> 『行政がボランティアとの連携に努める』旨明記 防災基本計画も改正
平成26年	広島豪雨災害	約4.3万人		
平成27年	関東・東北豪雨災害	約4.7万人	★NPOボランティアの活動を調整する「 <b>中間支援組織</b> 」の必要性が注目	
平成28年	熊本地震	約11.8万人	☆行政・NPO・ボランティアの <b>三者連携</b> による「 <b>情報共有会議</b> 」が機能(火の国会議) ☆中間支援組織JVOADが設立	
平成29年	九州北部豪雨	約6万人	☆被災地で情報共有会議が機能	■「ガイドブック～三者連携を目指して」(H30年4月)
平成30年	平成30年7月豪雨	約26.3万人	☆県別・全国で情報共有会議が機能	■ <b>防災基本計画改定(H30年)</b> 「中間支援組織を含めた連携体制の構築を図る」旨明記
平成30年	北海道胆振東部地震	約1.1万人		

内閣府防災「三者連携ネットワークのフロンティア<三者連携をめぐる潮流>」

災害支援の

7つの基礎キーワード

# 災害支援の基本①三者連携



▶ 組織・予算・税制	▶ 災害情報	▶ 防災対策	▶ 被災者支援	▶ 広報・啓発活動	▶ 国際防災協力	▶ 会議・検討会
------------	--------	--------	---------	-----------	----------	----------

お役立ち情報 [一般向け](#) [企業・団体向け](#) [地方自治体向け](#)



検索

[検索の使い方](#)

[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [防災情報のページ](#) > [防災ボランティア関係情報](#) > [行政・NPO・ボランティアの三者連携について](#)

## 行政・NPO・ボランティアの三者連携について

行政、NPO、社会福祉協議会（災害ボランティアセンター）等の三者が協働して被災者支援に当たる流れが、近年着実に進展しているところです。特に、多様な支援団体が被災地で活動するようになり、それらの活動を支え適切な支援活動がなされるよう調整する中間支援組織の役割も重視されるなど、連携の形が大きく進化してきました。

九州北部豪雨や平成30年7月豪雨などでは、三者が連携しての被災者支援を円滑に進めるため、被災道府県にて「情報共有会議」が開催されるなど、発災時に「情報共有会議」が開催されることも近年定着化してまいりました。

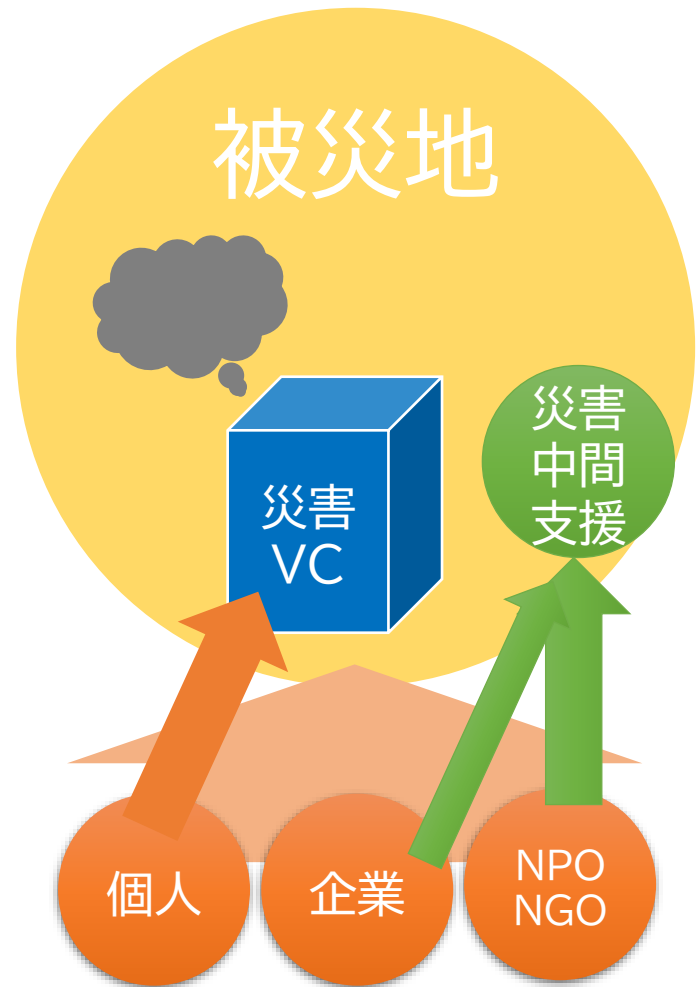
そのため、三者による円滑かつ効果的な被災者支援を更に進展させるよう、三者連携体の構築、あるいは発災時の役割分担を踏まえた三者連携体の実効性向上を、推進する必要があります。

# 災害支援の基本②受援と受援力

3種の受入れがカギ。

1. 個人ボランティア  
(一般ボランティア)
2. NPO・NGO・企業等  
(専門ボランティア)
3. 寄付・物資支援

特に大規模災害では支援が  
直後～1か月に集中！  
(報道の影響大)



# 災害支援の基本③災害中間支援組織



▶ 組織・予算・税制	▶ 災害情報	▶ 防災対策	▶ 被災者支援	▶ 広報・啓発活動	▶ 国際防災協力	▶ 会議・検討会
------------	--------	--------	---------	-----------	----------	----------

お役立ち情報 [一般向け](#) [企業・団体向け](#) [地方自治体向け](#)



検索

[検索の使い方](#)

[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [防災情報のページ](#) > [広報・啓発活動](#) > [防災ボランティア関係情報](#) > [災害中間支援組織について](#)

## 災害中間支援組織について

災害時には、専門性を有するNPO等のボランティア団体が被災地で大きな力となっています。

そうした団体のコーディネートを行う「災害中間支援組織」の重要性が高まっています。

内閣府では、全国域の災害中間支援組織である「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）」とタイアップ宣言を行う等、官民連携による被災者支援体制の整備を進めています。

### ● [全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）](#)とは

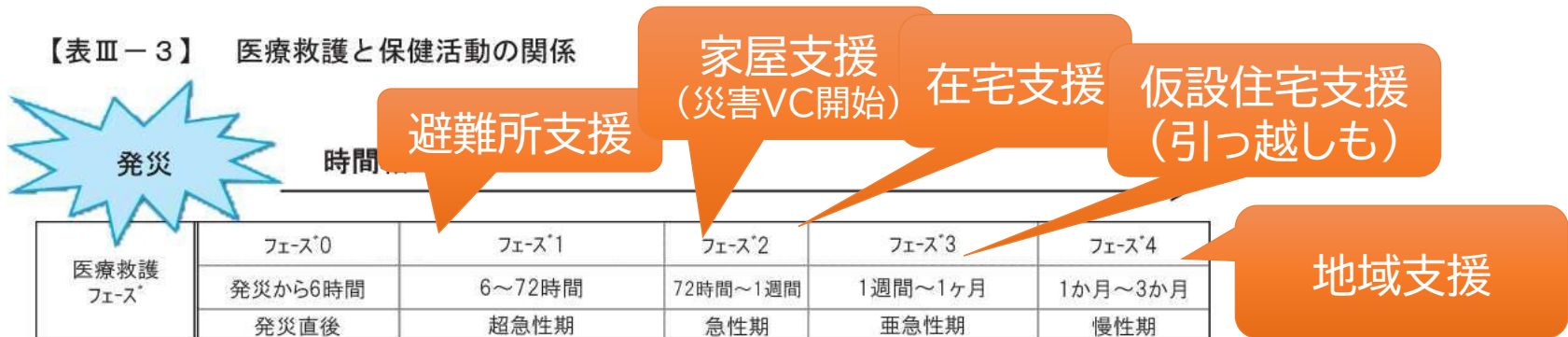
令和5年度には、都道府県域の災害中間支援組織の育成・強化のための検討を進めています。

### ● 令和5年度「官民連携による被災者支援体制整備事業」はこちら（作成中）

受援とコーディネートを核にしながら、  
NPO・企業等の民間支援を支えて繋ぐ機能。

# 災害支援の基本④フェーズ

【表Ⅲ-3】 医療救護と保健活動の関係



	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
医療救護 フェーズ*	発災から6時間 発災直後	6～72時間 超急性期	72時間～1週間 急性期	1週間～1ヶ月 亜急性期	1か月～3か月 慢性期
医療救護の 主な活動	○東京DMATの活動 ○災害医療コーディネーター 参集 ○医療対策拠点の設置	○主に日本DMATによる支援活動 ○都・地区医療救護班・歯科医療救護班・薬剤師班の派遣 ○緊急医療救護所の設置・運営 ○避難所医療救護所・医療救護活動拠点・災害薬事センターの設置	○主に他府県の医療救護班による支援活動		
医療救護 と 保健活動	医療救護 → 通常の医療体制へ				保健活動
保健活動 フェーズ*	フェーズ0 発災後24時間以内	フェーズ1 72時間以内	フェーズ2 ⇒ フェーズ3 ⇒ フェーズ4 (フェーズの変化は状況に応じて判断する)		
保健活動	初動体制の確立 住民の生命・安全の確保を行う	緊急対策期	応急対策期～生活の安定～ 避難所対策が 中心の時期⇒	避難所から仮設住宅等 次の住まい入居まで⇒	復旧・復興対策期
保健活動 の対象	傷病者・避難行動要支援者・要配慮者(特に医療ニーズの高い患者) ⇒要配慮者(時間と共に健康問題が生じる方:慢性疾患患者・妊産婦等)				
保健活動の場 (被災者の居場所)	救護所等 避難所/テント・車中 自宅・親戚知人宅	----- (必要時)二次(福祉)避難所 -----			----- 借り上げ住宅・仮設住宅 -----

資料：災害時医療救護活動ガイドライン（東京都福祉保健局、平成28年2月）

大規模災害における保健師の活動マニュアル（全国保健師長会、平成25年7月）

支援は長期戦。  
それぞれの  
フェーズに  
取りこぼされる人  
ができることが…



# 災害支援の基本⑤支援の領域

仕事

生活

家





# 災害支援の基本⑦災害ケースマネジメント

## 災害ケースマネジメント実施の手引き（構成）



総論	第1章 はじめに・第2章 災害ケースマネジメントの基本的考え方と取組の概括	
	<p>○災害ケースマネジメントとは（定義）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">被災者一人ひとりの被災状況や生活状況の課題等を個別の相談等により把握した上で、必要に応じ専門的な能力をもつ関係者と連携しながら、当該課題等の解消に向けて継続的に支援することにより、被災者の自立・生活再建が進むようマネジメントする取組</p> <p>○災害ケースマネジメントの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 災害関連死の防止</li> <li>✓ 避難所以外への避難者への対応</li> <li>✓ 支援漏れの防止</li> <li>✓ 被災者の自立・生活再建の早期実現、地域社会の活力維持への貢献等</li> </ul>	
実施に関する事項	第3章 災害ケースマネジメントの実施の準備（平時からの取組）	横断的事項
	<p>○実施主体の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 防災部局と福祉部局の連携</li> </ul> <p>○関係機関との連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 社会福祉協議会、NPO等との顔の見える関係の構築</li> </ul> <p>○市町村地域防災計画への位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域福祉計画等への位置づけ推奨</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	
	第4章 災害ケースマネジメントの実施	
	<p>※発災直後以降を3つの段階に分けて取組を記載</p> <p>○支援拠点の設置</p> <p>○アウトリーチによる被災者の状況の把握</p> <p>○情報連携会議・ケース会議の開催</p> <p>○支援記録の作成</p> <p>○課題に応じた支援へのつなぎ・支援の実施</p> <p>○継続的な支援の実施</p> <p style="text-align: right;">等</p>	
	第5章 災害ケースマネジメントの実施に係る個人情報取扱について	
	第6章 災害ケースマネジメント実施者の研修・支援について	
	第7章 都道府県の役割	
	第8章 大規模広域災害の発生に備えた準備について	
	第9章 災害ケースマネジメントの評価と改善（次の災害への備え）	
	第10章 福祉施策による災害ケースマネジメントの実施	
	第11章 災害ケースマネジメントの実施に係るデジタル技術の活用について	
	<p>【付属資料】</p> <p>付属資料1：用語集</p> <p>付属資料2：主な被災者支援関連制度集</p> <p>付属資料3：地方公共団体の独自支援制度等</p>	

被災者一人一人の状況に合わせた支援を連携で！

# 平成30年7月豪雨における 災害中間支援の実践

# 災害時中間支援組織の12の役割

1.情報共有会議

支援者間の連携・協働

2.支援者のオンラインコミュニティ構築(ニーズ把握とコーディネート)

3.行政制度把握・折衝

情報の収集・把握

4.ボランティアセンターの把握

5.在宅避難者の把握調査

調査と提言

6.避難所の把握調査

7.支援者向け情報発信

情報の発信

8.被災者向け情報発信

9.支援者の拠点コーディネート

資源の仲介

10.支援者の資源調達支援(物資など)

11.支援者の資源調達支援(資金提供など)

12.支援者の資源調達支援(資金提供のインフラ支援など)

全国で  
初めて  
岡山で  
整理

# ①情報共有会議



【**県域会議(岡山市内)**】  
毎週木曜日に7月9日～開催。  
@岡山県総合福祉会館  
当初100人規模→50人→30人



【**@くらしき会議**】  
毎週火曜日に開催。  
@倉敷市災害VC →@まびシェア  
当初40人規模→30人

# ②支援者のオンラインコミュニティ構築 (ニーズ把握とコーディネート)



Facebookのグループ  
を活用



Facebook  
のグループ  
へは1,140  
人が参加

リアルタイムでの調整  
や連絡

グループと  
ページの  
使い分け

# 民間だからできる柔軟な支援。

岡山県内外の様々な企業・事業所に様々な物資や技術の提供を依頼。



中山 智津子

2016年10月24日

真備に青汁。

復活したお店もたくさんあるけど、まだ何もできてない建物もたくさん。大阪や北海道に人手も材料も分散してなかなか工事が進まないと聞いています。

1枚目の写真は前田分館。物資の供給は10月末で閉鎖です。いつもそこにいるボランティアの方（その方も被災者）も青汁で調子良いと言ってくれました。

続いてすぐ近くの真備支所の二階へ。石原 達也さんのご紹介で社協さんのいる支え合いセンターへ。仮設にお住まいのお家に訪問して下さってるので、その時に一緒に持って行ってもらって、話題作り。健康づくりについて話して下さいませ。

これからしばらくこの形で支援します。集会所などにも持っていけると良いな！



あなた、千崎 奈々、柏原 拓史、他94人

コメント2件

いいね!

コメント

シェアする



石原 達也 ありがとうございます！

仮設の集会所、イベントのタイミングで設置できるように調整します。



# 2018年12月末までで…

- 支援物資数 1611個
- 支援金額 2,638,345円
- プロジェクト数 16 ※現在も一部支援募集中

## 物資供給拠点支援プロジェクト@箭田分館

被災者向けの物資の供給拠点となっている真備公民館分館の一つ、箭田分館において行政では対応できない

## 物資供給拠点支援プロジェクト@岡田・辻田分館

被災者向けの物資の供給拠点となっている真備公民館分館の一つ、岡田・辻田分館。災害後の生活に必要な

## 新設避難所支援プロジェクト@まきび荘

学校再開に向けて統廃合されていく中で、避難者を受け入れる新しい避難所がまきび荘にあります。その一つ、ま

## 指定外避難所支援プロジェクト@上井公民館

行政の指定を受けていない自主避難所はなかなか公的な支援の手も届かない場所であり、民間での支援が必



## 倉敷市災害ボランティアセンター泥かき作業応援プロジェクト

災害ボラセンでは主に真備町の家屋片付けなどの支援に取り組まれており、日々多くのボランティアの方が来られています。その物資支援に取り組んでいます。



## 被災地の子どもとママのための支援プロジェクト@サンサポートオカヤマ

独自のLINE登録者様390名のママへのアンケートを取り、要望の多かった物資支援に同じママのグループが取り組むプロジェクトです。

『災害サポート・レンタカー』

事前に電話でのご予約が必要です。当館に限りがあります。お申込みいただいた日よりお貸しできるものではありません。

※日本円で車を貸された方に対して無料中、軽自動車も無料でお貸しします。（保険加入経緯下）車心損傷、事故は真備公民館に届けてください。事故なく帰ることが大変な方にはご相談ください。

- 軽乗用車は借長1カ月間（申込み後車が届いてからの期間）申込受け開始の月末日まで
- 軽トラ・軽バンは借長2日間（10月末まで）※軽トラ・軽バンは10月までお貸しできません。

## 災害サポートレンタカー支援プロジェクト

被害で自動車を失った方に生活の足としてのレンタカーの無料貸し出しを行う日本カーシェアリング協会の「災害サポートレンタカー」事業の継続を支援するために行うプロジェクトです。



## 民間医療・介護相談所支援プロジェクト@ぶどうの家

医療や介護に不安を抱える高齢者の方などをサポートしようと民間による医療介護の相談所が真備町園分館に開設されています。その運営主体「ぶどうの家」を支援するプロジェクトです。







NPOやプロジェクト

[ツイート](#)
[シェア](#)
[LINEで送る](#)

## 被災地で支援をする人に"クリスマスLIVE"を！！ 「支える人を支える」プロジェクト

高松市真備町に約20箇所ある障害福祉事業所の半分が被災しました。

真備町の障町・福祉市にある「FUN LIFE CENTER BUILDING」で、12月19日（水）に、いつも支えてくれている真備町の障害福祉事業所の職員さんを対象とした音楽LIVEイベントを開催します。自分たちも被災しているにも関わらず、利用者さんのことを最優先して、暑い夏も寒くなってきたからも、いつも一生懸命な姿を見せてくれています。休む間も無く走り続ける「支える人」たちに、ほんのひと時ですが、クリスマスLIVEを届けたいと考えました。

達成率  
**35%**

達成金額  
**76,000円**

目標金額  
**215,000円**

残り

**28日 14時間 41分**

### 音楽は一流のラテンジャズバンドを



事業所に務める「支える人」たちは平均30歳代と若手が多い。一流アーティストによる音楽のシャワーを浴びてもらい、リラックスとリフレッシュを提供したいと思います。

イベントのメインを務めるのは、ラテンジャズバンド「CONJUNTO SANTOS（コンフント・

**30%**

**29,000円**

**50,000円**

### キャンドルに火を灯す



約300個のキャンドルに火を灯し、「がんばろう真備」を描きます。「がんばろう」と表記はしていますが、頑張れ！と鼓舞しているわけでもありません。キャンドルの灯りの前では、心穏やがになれます。ほんのひと時ですが、休息の場として頂ければ嬉しいです。私は毎月思うことがあります。やっど●カ月が経った。でもまだ●カ月しか経っていない。

## 2月7日にもキャンドルを

キャンドルをする理由

時のことを忘れず生きていこう。

入けない。

う」

えるまでが復興。

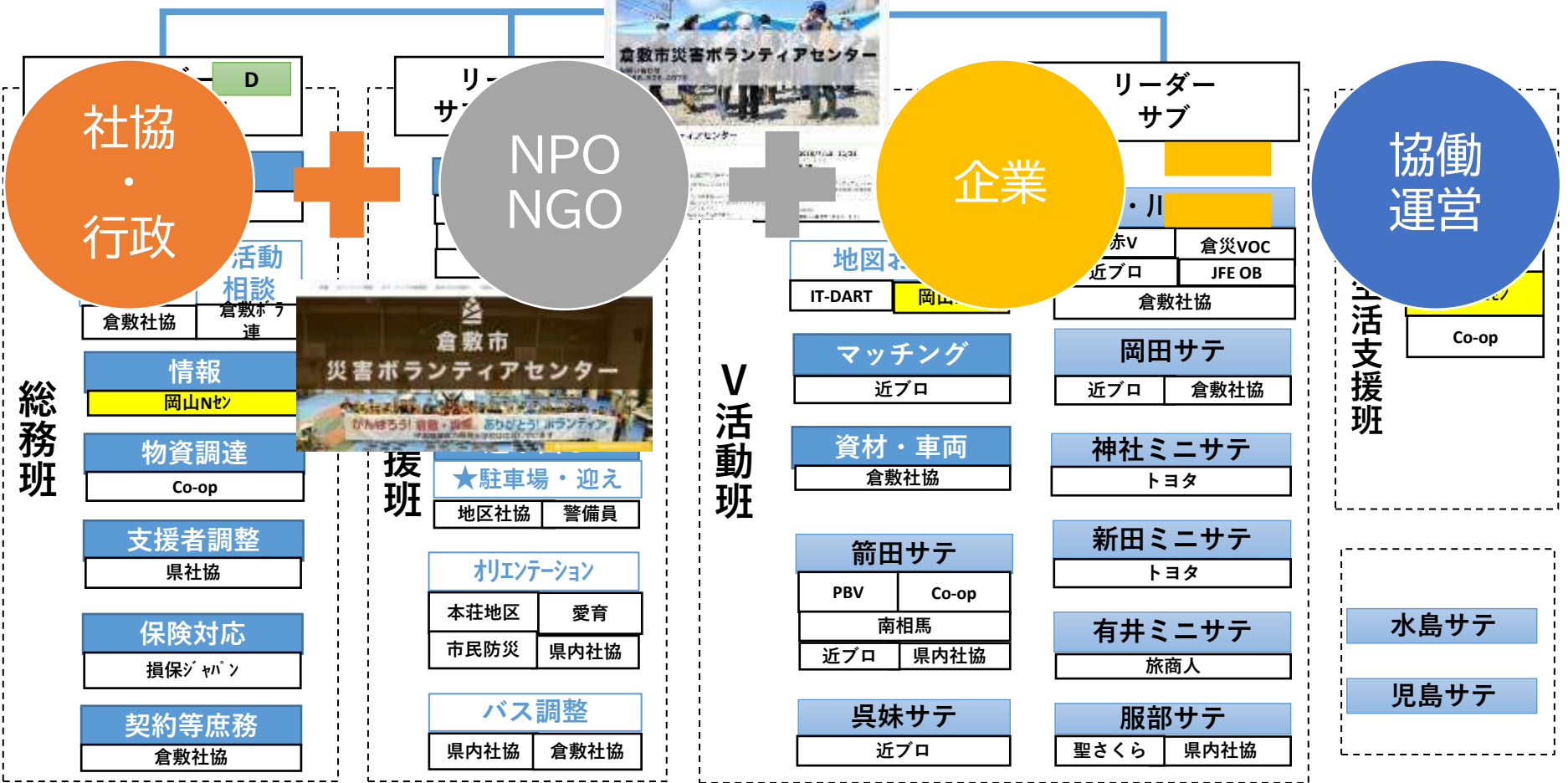
残り

**24日 14時間 42分**

今回の豪雨シ  
ディングサ  
可視化する。

# 災害 V C 組織機構図

## 総合調整



【災害時の連携から発展して】

岡山市×岡山市社協×災害支援ネットワーク(岡山NPOセンター)

の3者でボランティアセンター運営を担う枠組みを提携



# 災害ケースマネジメントの実践

# 岡山市・在宅避難者の調査 と一次対応

「被災高齢者等把握事業」で、見えない被災者へ支援をつなぐ

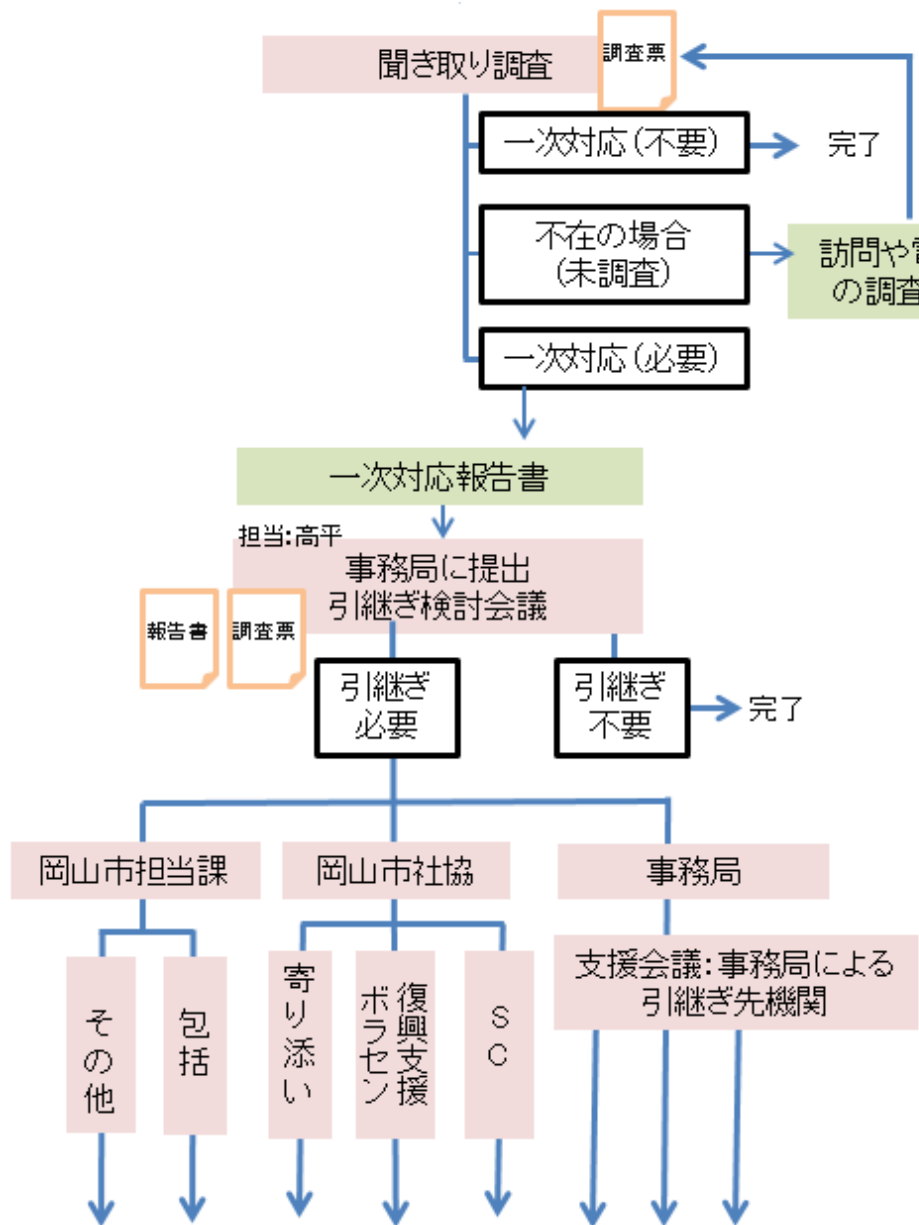
岡山市内には半壊被害が千棟規模であります。避難所もすべて閉鎖、みなし仮設にもわずか数件のみ。

つまり、被災を受けられた方の多くの方が自宅の2階などで自宅避難をされています。こうした自宅避難者(1,800棟)の方へ訪問による聞き取りを実施し、必要な情報をお届けし、支援につなぐ。

実施期間	平成30年8月24日(金)から 平成30年10月5日(金)まで
参加人数 (のべ)	451名 (専門家:183名 調査補助 員:49名 スタッフ:219名)
対象世帯	発災直後に岡山市の保健師が 訪問により把握した主に床上 浸水以上の被害を受けた世帯。



# 調査から一次支援への実施の流れ



# 一次支援の内容・結果

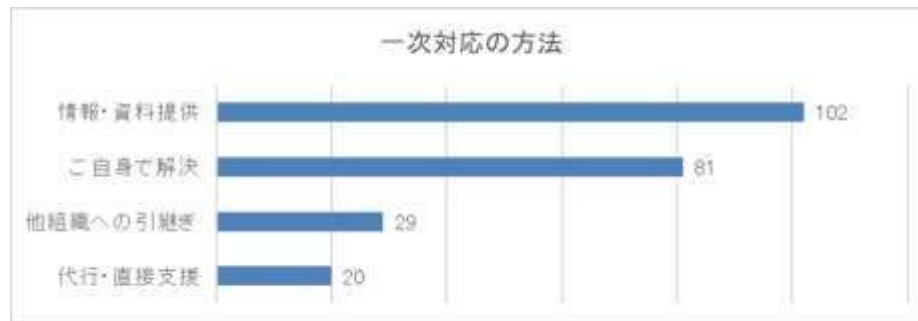
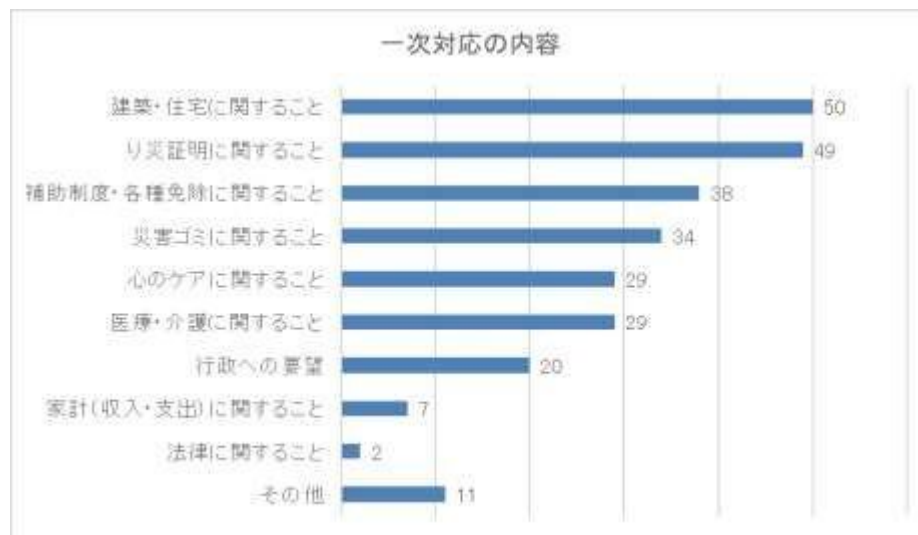
聞き取りが実施できた(調査済み)世帯のうちの約20%が発災から2か月が経過した時点でもなんらかの支援を必要としていたことがわかった。岡山市においては避難所の入所者やみなし仮設の利用者が少なく、被災者の生活状況の把握が困難な状況であったが、訪問・聞き取りを実施することでこれだけのニーズを掘り起こし、支援につなげられたことには大きな意義があったと思われる。

被災時の生活課題として、「**建築・住宅に関する対応**」や「**り災証明に関する対応**」が比較的多く発生していたことがわかる。「**建築・住宅に関する対応**」の具体的な内容としては、応急修理制度に関する詳細情報の提供や家屋の修理が遅れている状況に対する不安への対応が多く、**発災から約2か月が経過した時点においても、着工や見積りの遅れから修繕のめどがたっていない世帯が多かった。**

「**り災証明に関する対応**」としては、り災証明を申請していない世帯への情報提供・申請代行のほか、判定結果への不満に対する対応(再申請の案内など)が多かった。り災証明は生活再建に関わる様々な支援を受けるために必要となるものであるが、こちらも発災から約2か月が経過した時点にもかかわらず49件の対応が必要であった。

引継ぎ支援については、全体的に見ると**高齢被災者の健康状態の確認と見守り**を目的とした**地域包括支援センター**への引継ぎが最も多くなっている。いずれのケースも継続的な支援が必要になることが予想されるが、安心して地域で暮らし続けるためには、支援機関が提供するサービスだけではなく、家族や地域の支え合い活動などの身近な人々による支援も必要となる。これらを実現するためには、普段から家族との関係強化や地域の支え合い活動の促進が重要な取り組みであると考えられる。

N.O.	引継ぎ支援先	引継ぎの対象となる世帯
1	地域包括支援センター	高齢かつ健康状態に不安を抱える世帯など
2	寄り添いサポートセンター	経済状態に不安を抱える世帯など
3	災害ボランティアセンター、災害支援ネットワークおかもやま	災害ゴミの片づけが完了していない世帯など
4	保健センター、こころの健康センター	心の異常やストレスを抱えている場合など





# ⑧被災者向け情報発信

## 被災者向け支援情報まとめサイト「うったて。」



官民の様々な支援情報をまとめ、QRコード付きカードを配ってお知らせ。  
11人のボランティアライターさん(全国)で運営。

うったて。 市民による東日本震災から  
前に進む情報サイト

ホーム 検索 防災情報

被災者向けの官民の支援情報まとめます!  
うったて <http://uttate.jp/>  
全国の自治体や民間団体の支援情報サイト

お住まいの自治体の検索・検索  
お住まいの自治体の検索・検索  
お住まいの自治体の検索・検索

お住まいの自治体の検索・検索  
お住まいの自治体の検索・検索  
お住まいの自治体の検索・検索

タグ：免除

2018/10/25 | お金・債権・無料・県内全域・高齢者 |  
うったて編集部

病院代や介護利用料 12月末まで引き続き無料に ※11/2一部修正・追加

病院代や介護サービス利用料などの無料措置が、年内は継続されます。無料化の対象となる保険に加入している方は、病院や介護事業所の窓口で申し出れば、無料になります。「震災証明書」などの書類は必要ありません。保険...

2018/10/24 | お金・岡山市・債権・法律・相談 |  
うったて編集部

(岡山市) 所得税や市県民税の減免などで説明会

家賃や財産に災害で損害を受けた方が、「雑損控除」などを計算すると、所得税や市県民税などが軽減・免除される場合があります。岡山市・基・税務署が合同で、制度の説明会を開きます。<説明会の日程 ※この面にも参加...>

# 被災支援に対して必要な専門領域 (災害ケースマネジメントに必要な民間支援)

外部の力を  
借りる  
総力戦で

技術系ボランティア、  
建築士会、技術士会、  
中小企業家同友会、各  
種土木、建設会社、大  
工、産廃事業者など

通常生活への復旧  
建替・修繕、生活費、  
移動手段、受験など

教育NPO、学習塾、  
バウチャー発行組織、  
福祉輸送、ボラン  
ティア輸送、カー  
シェア など

心身ケア  
感染症、認知症、  
障害、外国人、  
LGBTQ、保育、  
ペットなど

行政・法的手続き  
罹災証明、司法手  
続き、ローン、調  
停、トラブルなど

弁護士会、  
司法書士会、  
行政書士会  
など

当事者組織、社会福祉  
士会、医療ソーシャル  
ワーカー協会、介護福  
祉専門員協会、動物愛  
護・支援NPO、外国人  
支援組織 など

# 被災家屋部会

## 水害編 復旧ロードマップ

被災後の復旧についての大きな目安です。ご参照ください。

**生活** 罹災証明 保険 生活再建計画

**写真記録** 写真を撮る

**家財搬出** 被害認定の目安

**家屋処置** 家屋処置の手順

**新たな生活へ** 新築、リフォーム、住み替え

## 自動車編 復旧ロードマップ

被災後の自動車の処置についてです。ご参照ください。

**発災直後** 安全確保、エンジンキーを返さない

**写真記録** 事故現場を撮影

**保険会社へ** 事故報告、保険・補償手続き

**代車の調達** 保険会社から借車

**新たな車の調達** 中古車、新車

**無償のレンタカー** 貸車サービス

**車の廃棄** 廃棄のタイミング

**洗車はNG** 水が汚れからなくなるまで洗車しない

## What can I do after flood damages? A Road Map for Recovery

**Obtain a Disaster Victim Certificate**

**Check your insurance policies**

**Make a recovery plan**

**Document damages**

**Clean-up**

**Clean the house**

**Act on your recovery plan**

**Remodel my house**

**Find different housing**

**Did you know?**

災害支援ネットワークおやま被災家屋部会 令和4年度人材育成実践研修

被災者の生活再建を見据えて

### 水害の被災家屋復旧の順序とボランティアコーディネーションについて学ぶ

1日までの準備に集れる環境の整った仮設が期待できる

災害地での重機作業の基礎を学ぶ

### まび重機ワークショップ基礎編 開催!

5/27(金)	6/4(日)	6/5(日)	6/11(土)
13:00-20:00	0:00-12:15	0:00-15:35	7:00-17:00

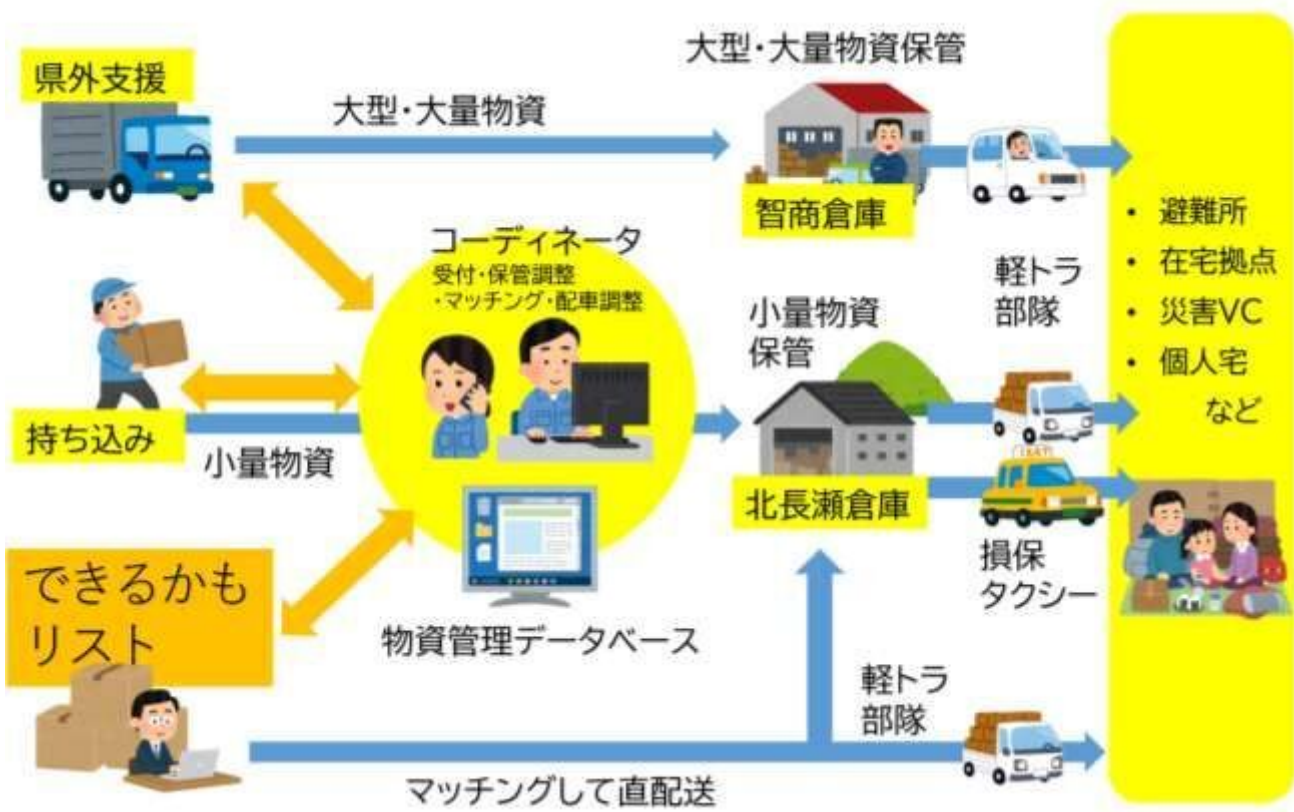
オンライン: 前日18時 動画視聴可能1日公開 動画視聴可能1日公開

事前申し込み: 講習

申し込み方法: WEBフォームからお申し込みください。

お問い合わせ: 0570-023-140

# 物資部会



## 平時から動く 災害ボランティア養成講座 "はこぶ"でたすける

災害時に全国から寄せられる物資や資材などの支援を、避難所や災害ボランティアセンター、在宅避難者の生活支援などの被災地内や被災地に迅速に届けるためには、機動性の高い車両での配送が必要となります。この講座では物資支援の基礎や西日本国際貨物の体験を聞いて物資支援について学びながら、平時から動ける関係をつくっていきます。

日時 2021年5月22日(土)  
 時間 10:00~12:00(受付開始9:50)  
 会場 オンライン(Zoom)  
 対象 物資輸送ボランティアを学びたい方

◎加無料  
 2021年7月4日(日)に  
 現地研修も行います。  
 ぜひあわせて参加ください！  
 申し込みは下記まで  
 西日本国際貨物株式会社  
 〒590-0001 大阪府堺市東区大倉山1-1-1  
 TEL 042-234-2932 E-MAIL [info@waji.co.jp](mailto:info@waji.co.jp)

内容  
 西日本国際貨物の概要から  
 河合 繁雄 さん(株式会社 警備隊 代表取締役)  
 津原 真入 さん(合同会社H&H 代表)  
 はこぶのシステム  
 フランシザー様へ 名刺 連絡(災害支援ネットワークおよび事務局人)

お申し込み  
 右の二次元コードまたは下記のURLからフォームでお申し込みください。  
<https://forms.gle/K8996m9u3bA204>

主催:西日本国際貨物株式会社  
 協賛:西日本国際貨物株式会社 物資支援部( 高橋 隆 様) 西日本国際貨物株式会社(AMPOセンター)  
 TEL 042-234-2932 E-MAIL [info@waji.co.jp](mailto:info@waji.co.jp)



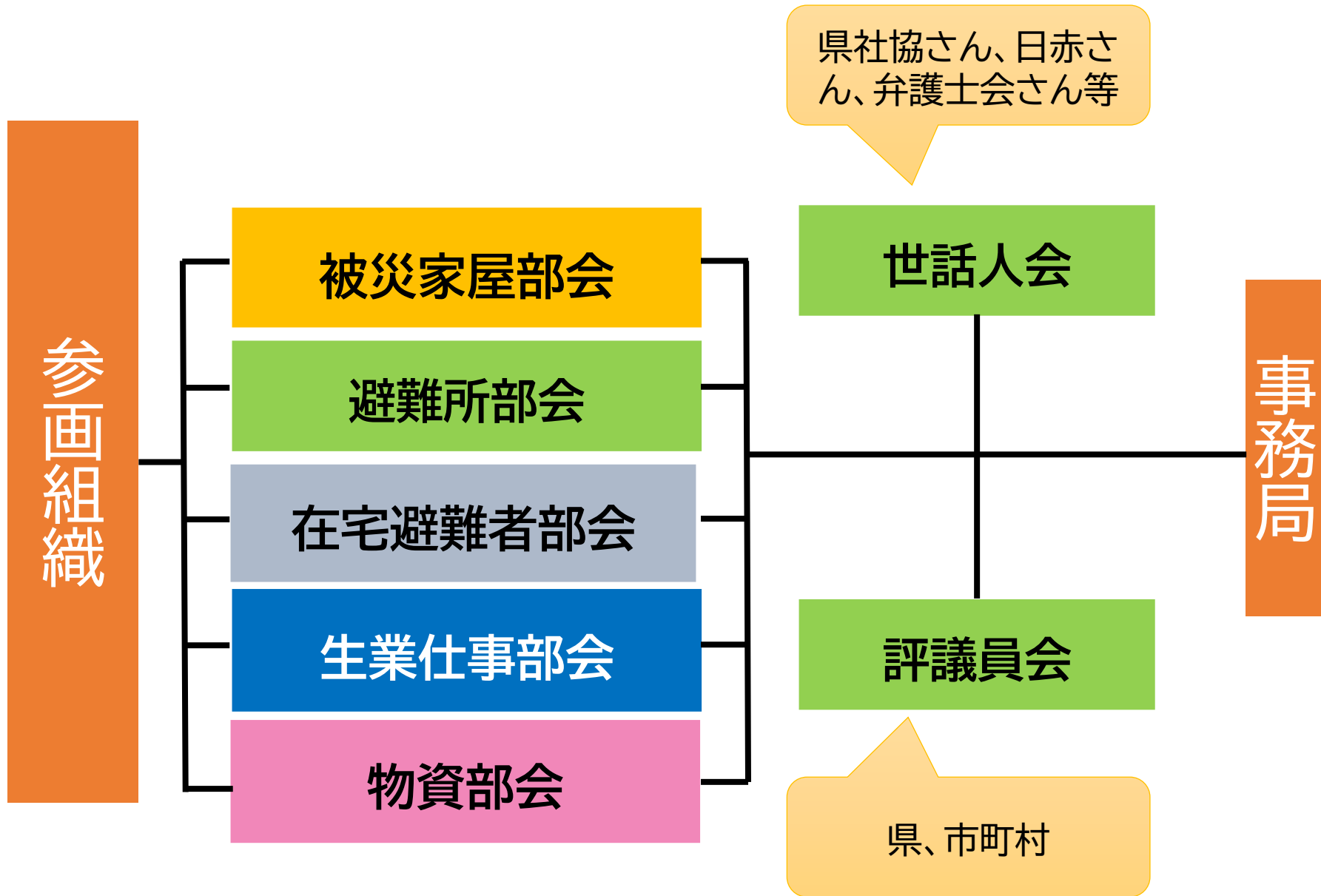
## "はこぶ"で助ける 物資倉庫シミュレーション

日時 2022年6月18日(土) 10:00~14:00  
 場所 北長瀬未来ふれあい総合公園管理棟 多目的倉庫  
 対象 物資管理に興味のある方  
 参加費 無料  
 内容 トラックから倉庫への荷下ろし  
 倉庫からピッキング、積み込み  
 振り返り

# 災害の専門性をもち長期的に関わる人材不足

	行政・社協支援	補完的支援	個別ニーズ支援
概要	災害VC、避難所などの行政や社協が主に運営する場の強化や補完をする支援	家屋修繕、炊き出し、物資、マッサージ&傾聴、専門相談など被災者の復旧や避難所運営等を補完する支援	託児、障害者支援、外国人支援、ペット支援等、個別の被災者ニーズに対応する支援
要件	<ul style="list-style-type: none"><li>★長期的な時間と人員の投入</li><li>★災害支援の専門性・知識</li><li>○運営支援の経験ないしはノウハウ。</li><li>○行政・社協との関係性・コミュニケーション</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>★短期集中的な人員ないしは資金の投入(購入費など)</li><li>★災害支援用にカスタマイズした専門性・知識</li><li>○炊き出し、マッサージには専門性やノウハウ</li><li>○物流ルート、車両</li><li>○マナー、ニーズ把握</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>★各分野の専門性や平時のネットワーク</li><li>○長期的な関り(復興まで)</li><li>○支援団体間の連携、情報共有</li></ul>

# 組織図



民間支援→公的援助の隙間を埋める・補完する  
市町村、災害VC、自主防災との協働

社協

【基本理念】

誰ひとり取り残さない支援

町内会  
自主防  
災

協働